

事業名 (箇所名)	今津坂野海岸侵食対策事業		担当課	徳島県 河川整備課		事業 主体	徳島県			
			担当課長名	赤堀 良信						
実施箇所	徳島県小松島市和田島遠見～徳島県阿南市那賀川町苅屋									
事業評価 該当基準	事業採択後長期間(5年間)が経過した時点で継続中の事業									
事業諸元	直立堤L=6,464m、離岸堤L=325m、消波堤L=759m、突堤L=1,876m、大規模突堤21基、養浜工375,000m ³ 、緩傾斜堤防工L=2,400m									
事業期間	昭和36年度～平成49年度(西暦1961年～2037年)									
総事業費 (億円)	123億円			残事業費(億円)	32億円					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 当海岸は、一級河川那賀川の河口北側に位置しており、漂砂は北向きに卓越しているが、那賀川上流部に建設されたダムにより土砂供給量が減少したことから、当海岸の海岸線が大きく後退している。 昭和30年代から侵食が目立つようになり、最大150mの汀線後退が確認されている。 昭和36年度に侵食対策事業に着手し、直立堤、突堤、離岸堤等の整備により著しい侵食を抑えてきたが、前浜の回復には至らなかったため、平成元年に抜本的な事業の見直しを行い、全体計画を策定した。 平成元年より、前浜の造成、波の打上げ高の低減、水際へのアクセスを容易にすることを目的として、養浜・緩傾斜堤防の整備を計画し、砂の流出防止のため大規模突堤の整備を進めている。 <p><達成すべき目標></p> <p>大規模突堤工、緩傾斜護岸工、養浜工により海岸侵食の防止及び高潮による越波被害の軽減を目標とする。</p>									
事業全体の 投資効率性	基準年度		平成30年度							
	B:総便益 (億円)	5,061.9	C:総費用(億円)	402.75	B/C	12.568	B-C	4,659.15	EIRR (%)	9.793
残事業の 投資効率性	B:総便益 (億円)	4,590.86	C:総費用(億円)	24.68	B/C	186.015				
感度分析			残事業(B/C)	全体事業(B/C)						
	残事業費(+10%～-10%)	170.0	～	205.3	12.5	～	12.7			
	残工期(+10%～-10%)	186.3	～	199.7	11.6	～	13.5			
	資産(+10%～-10%)	167.1	～	204.9	11.3	～	13.8			
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 現在、大規模突堤の整備を完了した区間では、モニタリング結果(土量変化量)から安定傾向となっている。 波浪の打ち上げ高の低減が見られることから、背後の集落では越波による浸水被害が軽減されている。 									
社会経済 情勢等の 変化	<ul style="list-style-type: none"> 全国的にも養浜砂の採取が困難となっている。 									
事業の進 捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度までに大規模突堤8基が完成しており、現在2箇所で施工中である。 									
事業の進 捗の見 込み	<ul style="list-style-type: none"> 養浜において、他事業と連携を図りつつ、平成49年度(2037年度)内を目処に事業を推進している。 									
コスト縮減 や代替案 立案等の 可能性	<ul style="list-style-type: none"> 既設の六脚ブロックを突堤の縦堤消波ブロックに再利用し、コスト縮減に努めている。 他事業との連携により、養浜砂の有効利用に努めている。 									
対応方針 (案)	継続									
対応方針 (案)理由	<ul style="list-style-type: none"> 海岸侵食の防止及び高潮による越波被害の軽減を目的とした事業であり、現段階においても、事業の必要性は変わっておらず引き続き事業を継続することが妥当と考える。 									